

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動室の広さ・解放的な空間	余暇で使用する玩具や物品など、別室で管理している。 基本的に仕切りを使わずフロアマットの色分けをすることで、視覚からも活動スペースの違いをこども達にアプローチしている。	引き続き、環境配慮を行う。 広さを活かしてのびのびと身体を動かす余暇を楽しめるようなプログラムを設定していく。
2	常勤・非常勤含め役割がしっかりと分けられている。 活動プログラムを事前に決められた担当・チームで行う為時間に余裕をもって取り組むことができる。	毎月の店舗会議や支援前に役割の確認、振り返りやプログラムの検討会を行う。	担当が固定化しないよう、またマンネリ化しないようにスケジュールを組む。 経験の差が出ないよう配慮し、他職員に意見が求めやすい環境を作る。
3	こどもたちの発達状況や特性の把握、共通理解ができている。	面談や送迎時の申し送り等でご家族、学校関係者と日頃の様子を確認し、共有する。 計画したプログラムや促しが、実際に個々の特性に合ったものか、職員間で振り返りの機会を設ける。	本人にとって活動がわくわくできる内容であるよう、また達成感や自信に繋がるような取り組みができる機会を多く設定していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	駐車場が遠く、送迎車両を駐車する時は一時的に職員が少なくなる。	近隣の駐車場に空きがない。	駐車場の空き状況を日頃から確認する。 安心安全を考慮し、活動を始めるタイミングに無理がないよう配慮する。
2	保護者様が実際の活動の様子を見れる機会が少ない。	コロナ禍やその他感染症の流行からここ数年、見学会のイベントが設定できていなかった。	見学会のイベント以外でも、通常のご利用を気軽に見に来ていただけるよう日頃から発信を行う。
3	災害時や緊急時の対応やマニュアルへの理解、認識が低い。	常勤・非常勤で認識に差がある。 ご家庭への説明の機会が契約時のみになっている。	常勤・非常勤や経験年数の違いに関わらず、職員全体で認識できるよう周知・共有を行う。 契約時に加え、面談などでも定期的にお声掛けしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ライズ児童デイサービスいどがや

公表日 2025年3月1日

利用児童数 28

回収数 19

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	0	0	0	とても広い。 解放感がある。 こどもが喜びそう。	引き続き、十分なスペースで過ごして いただけるよう環境配慮していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	0	0	0	適切だと思う。 正確にはわからないが特に不安はない。	必要な配置基準を厳守とし、安心安全に サポートができるよう努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1	0	1	エレベーターもあり、すっきりした室内 だと思う。 よくわからない。	引き続き、ご満足いただける環境を維持 していきたいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	0	0	0	きれいで広い空間だと思う。	引き続き、ご満足いただける環境を維持 していきたいと思います。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	0	0	2	専門性があるかはわからないが満足して いる。	個々の特性に合わせた支援に繋がるよ う、ご家族や関係機関と連携をとりなが らサポートして参ります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	4	公表していたことを知らなかった。 合っていると思う。	支援プログラム公表時期をお知らせして いきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	0	0	2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	1	0	0	外出は少ないと思いますが、そのまま 良い。	近隣の公園外出などから、適度に身体を 動かし公共の場での経験の機会を作って 参ります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	6	6	よくわからないが、必要に感じていな い。 なくていいと思う。	必要に応じ、ご希望や交流の機会があ った際に検討いたします。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	0	0	0	契約時に説明を受けた。	引き続き、ご理解いただけるよう丁寧な 説明でお伝えできるようにして参りま す。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	0	0	0	面談時に説明を受ける。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	3	0	6	アドバイスをもらうことはできる。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19	0	0	0	できたこと、できなかったこと含め 丁寧に説明してくれるのが助かります。	引き続き、面談や送迎時に日頃の様子 や過ごしを共有をして参ります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	4	2	6	7	そういう機会は無かったが、特になくて もいいと思う。 見学に行った際、様子が見れてよかつ た。	コロナ禍で控えておりましたが、保護者参 観のような見学会を少しずつ増やしてい きたいと思います。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	0	0	0		ご利用者が過ごしやすい環境になるよう 配慮いたします。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	0	0	1	ホームページのブログで様子が伝わる。	引き続き、活動の概要やご様子を日々のブログで発信して参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	0	0	4		各種マニュアルの見直しや更新に努めて参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	0	0	1		毎年5月と11月の年二回、避難訓練を行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	1	安心しています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	0	0	0	学校のある日もない日も楽しみに通っている。	活動を通して、いろいろな体験やお友達との関わりを一緒に楽しめるよう努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	0	0	0	満足している。 相談できる場があって助かる。	今後も、安心して送り出していただけるようご家族と連携を図りながら支援して参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ライズ児童デイサービスいどがや				公表日	令和7年 3月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8	1	適切な配置になるよう必要な人数スケジュールを組んでいる。	送迎ができる職員配置のバランスが難しいことがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	5	事業所ビルにエレベーター有り。活動室はフラットで、物品なども必要最低限にして整理をしている。	手を洗う場所と食器等を洗う場所が同じである為、不便さを感じることもある。駐車が遠い。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	ご利用時間の前後で、環境の確認と清掃消毒を行っている。 また、こども達が視覚からも行動しやすいよう簡単な絵カードやひらがな表も使用している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	クールダウンが必要な際に使用できる静養室がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	2	毎月の店舗会議や支援会議、また朝礼や終礼で共有・確認を行っている。	非常勤の職員参加が充分ではないことがある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2	店舗会議で共有を行っている。	評価表からいただくご意見が少ない為、面談時などに直接お話をさせていただくこともある。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	店舗会議や、職員の個別面談を通じて意見が出しやすい環境を作っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2		非常勤には、よくわからないといった声もあった為今後そのような機会の場面で説明を行う。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	年間を通して、定期的研修スケジュールの機会がある。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	日々の様子は、HPでのブログで発信している。また、ご利用カレンダーを用いて活動スケジュールをお知らせしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	計画を更新する時期、またそれ以外でも必要に応じて作成時、職員で意見を交わす場を設けている。	積極的な意見が出るのが少ない。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2	経過記録を個々につけている。 ホワイトボードで全体の動きが確認できる。	経過記録をゆっくり見返す時間が少ない。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	半年に一度、あるいは状況の変化に合わせて面談を行い、細かな発達状況などの確認と共有をすることで内容の設定をしている。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	月毎に担当者が決められており、その中で意見を出し合う場が作られている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	2	季節に沿った工作や調理などは毎月のプログラムに組み入れながら、内容に変化を持たせている。	外出に関しては、ご家族のご希望の有無がわかれている為、その都度ニーズに合わせて検討したい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	子ども達の個々の特性に沿って活動に参加できるように配慮をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	支援開始前に、細かな役割を決めて表で確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	経過記録にて、日々の記録をつけている。その他、職員申し送りノートで改善や変更の確認を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	2	月単位のプログラムや活動から、盛り込めるよう工夫している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	1	手順書や絵カード、ひらがな表で自己発信できるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	2	児童発達支援管理責任者を中心に参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	5		体制に特に問題は感じないが、実際にそういった場面は少ない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	電話以外にもLINEでの連絡方法を利用している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	6		あまりそういった機会がない。保護者様を通してプロフィールシートを提出いただくことはある。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	5	児童発達支援管理責任者を中心に必要に応じて行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	8	地域の療育センターの見学会などに参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	9		交流の機会はない。保護者様からのご希望がない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	0	児童発達支援管理責任者が参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	面談や送迎時に行っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	8		保護者の方への研修機会は少ない。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時に説明をしている。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	面談時に確認をしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	ご納得いただいた上で説明を行い同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	9	父母会等のご要望がない。進路などのお悩みを吸い上げたものを事業所からお伝えしている。	引き続き、面談の機会に進路や就労についての過去の事例などをお伝えできるようにしていく。ご希望があれば交流会を検討する。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	迅速な対応が出来る様、連絡体制を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	HPでのブログ、またはLINEを活用している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	留意されている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	配慮できている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		地域の方と交流する機会が少ない。行事などの機会から、そういった取り組みをしていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2	緊急用持ち出しファイルの用意をしている。	保護者様への周知の機会が少ない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	3	年に二回、決められた月に避難訓練を実施している。	災害の想定をして避難訓練を行っているが同じ内容になっている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	契約時の基礎調査資料や、定期的な面談で確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	契約時の基礎調査資料や、定期的な面談で確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2		常勤・非常勤職員の認識に差がある。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	2		保護者様への周知の機会が少ない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ヒヤリハット報告書を作成、共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	定期的を実施されている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	やむをえない身体拘束がどのような場面で必要になるか、保護者様に説明し了解をいただいている。		